



らぶっく La·BOOK

12月号

No.54

中央・豊科・堀金図書館の図書展示

拾ヶ堰(じっかせぎ)

「世界かんがい施設遺産」に登録!

平成28年11月8日(火曜日)にタイ王国チェン



マイで開催された国際かんがい排水委員会 (Icrid) 第67回国際執行理事会において、拾ヶ堰(じっかせぎ)が「世界

かんがい施設遺産」として登録されることが決定しました。

安曇野は扇状地であるため、地下に水が浸透してしまい農業用水に恵まれない地域でしたが、江戸時代、藤森善兵衛や等々力孫一郎、中島輪兵衛をはじめとする多くの人々の尽力により、念願の堰が1817年に開削され、今年が開削200年という節目の年でした

中央図書館・豊科図書館・堀金図書館では、市民の皆さんに知っていただこうと関連本を集めて展示しています。



明科図書館

奮闘! 調べもの日記(レファレンス)

木戸橋の歴史を知りたい

明科地区には、明治以前は犀川に橋がありませんでした。代わりに、光、塔之原、荻原、小泉に渡船場があり、対岸との往來をしていました。しかし、夜間や大水の時は渡ることができず大変不便でした。

1877(明治10)年、両岸の人々が私財をなげうって木戸・荻原間に木製のつり橋を架けることに成功しました。信犀橋と名付けられましたが、間もなく大水で落橋。その後も改修のまいなく三度流失し、再び渡船に頼らざるを得なくなりました。

1930(昭和5)年、県道犀川線(現国道19号線)の整備に伴い、三連アーチの橋が架けられました。これが旧木戸橋です。松本から長野の間で犀川に架かった初めての鉄橋でした。旧木戸橋の老朽化が進んだ1973(昭和48)年に、上流約50mの場所に現在の木戸橋が完成しました。翌年の解体工事までは、新旧二つの木戸橋が並ぶ姿をみることができました。



雷山から望む新木戸橋(左)と旧木戸橋(右)1973(昭和48)年

雷山から望む新木戸橋(左)と旧木戸橋(右)1973(昭和48)年

<関係資料>

- 『明科町史 下巻』 明科町編纂会 1985年
- 『目で見える明科史』 目で見える明科史発行委員会 1977年
- 『荻原の昔と今を再発見』 荻原の昔と今を再発見する会 2013年

私と図書館

(小5 田島麻生)

私は、図書館で過ごす時間が大好きです。そのわけは、二つあります。

一つ目は、本を読むことが好きだからです。本を読むとリラックスできて、気分が落ち着きます。

二つ目は、様々な本に出会えるからです。ハラハラドキドキする世界、わくわくする世界、おもしろい世界がたくさんあります。その中から、自分だけの「お気に入り」の一冊を見つけるのはとても楽しい気分になります。

このように図書館へ行くと、楽しいことがたくさんあります。だから、私は図書館が大好きです。



11月貸出ランキング

一般書

- 1 火花／又吉直樹
- 2 去就／今野 敏
- 〃 コンビニ人間／村田沙耶香
- 〃 何様／朝井リョウ
- 5 祈りの幕が下りる時／東野圭吾
- 〃 カッコウの卵は誰のもの／東野圭吾
- 7 希望荘／宮部みゆき
- 〃 松本城、起つ／六冬和生
- 9 恋のゴンドラ／東野圭吾
- 〃 眞贋／今野 敏
- 〃 絶唱／湊かなえ

表紙

表紙

児童書

- 1 しろくまちゃんのほっとけーき／わかやまけん
- 2 バムとケロのさむいあさ／島田ゆか
- 3 くれよんのくろくん／なかやみわ
- 〃 となりのトトロ／宮崎 駿
- 〃 どこかなどこかな／そうまこうへい
- 6 バムとケロのおかいもの／島田ゆか
- 7 だるまさんと／かがくいひろし
- 〃 どんどこどん／和歌山静子
- 〃 バムとケロのそらのたび／島田ゆか 他

AV資料

- 1 カーズ／ジョン・ラセター監督
- 〃 チャーリーとチョコレート工場／ティム・バートン監督
- 〃 ソウルの動く城／ダイアナ・ウィン・ジョーンズ原作
- 〃 ハリー・ポッターとアズカバンの囚人／アルフォンソ・キュアロン監督
- 〃 みんなのあづみの／安曇野市農業再生協議会
- 6 21エモン／本郷みつる他監督
- 〃 アイス・エイジ2／カルロス・サルダーニャ監督 他多数

中央図書館から

本のソムリエ(職員)おすすめ本

一般書

『大正ロマン手帖』

石川圭子編／河出書房新社

表紙

和と洋が美しいバランスで織り交ざっていた古き良き時代である大正時代。「抒情画」「おしゃれ」「女性」「芸能」「文化生活」の側面から懐かしく新しいその魅力を紹介しています。

写真や竹久夢二などの絵が載っているので、読まずに眺めているだけでも楽しめます。

ノスタルジックでモダンな「大正ロマンの世界」に浸ることができる一冊です。

児童書

『みかんのめいさんち』

平田昌広／作 平田景／絵／すずき出版

表紙

親せきのおじさんからみかんが届きました。おじさんの住む町はみかんの名産地です。みかんがたくさん採れるので、町中みかんで

いっぱい、甘くておいしいみかんが食べられます。誕生日にはみかんケーキ。水道からはみかんジュースが出て飲み放題。縁日にはみかんすくいとみかん釣り。名産地がどんな所なのか、ぼくはいろいろ考えます。

冬といえば、こたつでみかん。みかんの名産地を考えながら読みたくなる絵本です。



「本のお年玉」 1月5日(木)～

年の初めに、いつもと違うジャンルの本を手にしていただいて、新しい発見をしていただこうと「本のお年玉」を行います。本のソムリエ(職員)がテーマを考え、そのテーマに合ったおすすめ本3冊を選び、中身が見えないよう英字新聞で包みました。メッセージカードが付いていますので、お好みのセット(一般・児童)をカウンターへお持ちください。今回は、プレゼントも入っています。各館ともなくなり次第終了となります。



編集・発行・お問い合わせ



- 中央図書館 ☎84-0111
 豊科図書館 ☎71-4022
 三郷図書館 ☎76-3078
 堀金図書館 ☎72-3601
 明科図書館 ☎62-1122

図書館ホームページ(蔵書・資料の検索もできます)
<http://www.city.azumino.nagano.jp/site/tosho>

※編集後記※
 「清掃はやくしな」
 世界一清潔な空港を支える職人と題した、日本航空テクノ株式会社新津春子さんの堀金総合体育館での講演会。
 「気づくことが私の仕事。お客様の立場で...それが、やさしさ」と述べられた。一つの事で、お客さんの旅を合無しに「清掃はやくしな」とも。
 世界一清潔な空港を支える職人の生き様